

第二回世界将来世代京都フォーラム特別ご招待

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、今夏広島、長崎被爆五十周年、国連発足五十周年、そしてラッセル・アイ
ンシュタイン宣言四十周年を記念して、七月下旬に広島市で一九九五年第四十五
回バグウォッシュ会議が開かれることになりました。

この機会をとらえて、「将来世代への我々の良心と行動」をテーマにバグウォッ
シュ会議の主要メンバーをお招きして、会議直後の八月三日・四日に、京都で私
ども京都フォーラム及び将来世代国際財団が主催して「第二回世界将来世代京都
フォーラム」を開催し、現今の人類の危機を克服すべく、共通の問題について討
議致したく企画を進めております。

つきましては、何かとご多忙の中、まことに恐縮ですが、ぜひとも私どもの会議
に参加していただき、ご意見をお聞かせ願いたく、特別ご招待申しあげる次第で
す。

平成元年十一月三日の文化の日、私ども京都フォーラムは京の地に始まり、翌平
成二年より、地球人として取り組むべき課題について、内外の各界の学識者との
定期的なフォーラムを開催致してまいりました。

平成四年度には、地球サミット（環境と開発に関する国連会議「UNSEED」）
のM・ストロング事務局長をお招きしての会議を始め、公式ニューズレターの日
本語版、公式日刊新聞の発行等を通じて、様々なUNCED公式行事を支援致し
てまいりました。

同年七月、国際的合意の持続可能な開発を将来世代観点からさらに深めるべく、
京都フォーラムの発展的国際版として、将来世代国際財団をニューヨークに、将
来世代総合研究所を京都に設立致しました。

平成五年度からは、国内においては、アジアからの留学生を中心とした「将来世
代留学生フォーラム」を日本の各地において開催し、海外においては、アジアを
中心とした各地で、将来世代観点を各国の学識者と論じあう「将来世代国際学識
者フォーラム」を開催致してまいりました。なお、今日までの活動については、
財団の活動を紹介するパンフレット、講演集「地球サミット・タイムス 地球環
境 誌上フォーラム」、「地球サミット特別会議 地球環境 賢人会議」等を資
料としてご送付申し上げます。

また、京都フォーラムの座長をつとめております清水栄は、広島被爆直後、学術
的調査団の一員として、また、実験原子核物理学者として、彼地に数日を過ごし、
名状すでからざる惨状を初めて体験致しました。さらに、ウランの核分裂連鎖反
応による残留放射能を初めて計測し、原爆であることを科学的に正確に実証した
調査隊の一人として、今日生き残っている唯一の証人です。そして、一九五四年
三月一日の中部太平洋ビキニ環礁における、強大な原爆実験によるフォーラムアウ

トによつて遭難した漁船「第五福竜丸」上より採取したビキニの灰の分析により、米国が極秘にしていた核爆発の本体が、超水素爆弾であることを突き止めた京大の科学者のリーダーでもありました。その後、招かれて渡米した折り、一九五六年七月二十九日に、ワシントン市の中心街に当時ありました米国原子力委員会の本部で講演を依頼され、こうした過去の経験をつまえて、核兵器は人類の最大の罪惡であると、日本人として初めて現地でこれの廃絶に言及したものです。

今夏計画している第二回の将来世代京都フォーラムは、昨秋の第一回に引き続き、パグウォッシュ会議と共通する問題につき討議するに際し、今回は、限られた人数でのラウンド・テーブル方式で気軽に自由に発言しあい、私どもの志している地球大の視野を将来世代の視座により問い直し、あらゆる意味のエゴイズムを克服し、西欧文化を反省し、アジアの深い哲学、宗教を導入して、新しい人生観・世界観を創造して、人類の新しい歴史の開拓の一助となるような議論を活発に交わしたく存じております。

なお、今回の会議には、同封致しておりますプログラム案にございますように、かねてより京都フォーラムにご賛同いただいている宗教者・科学者・哲学者・文学者等の知行合一に志しをいつにする人々が集まる予定になっております。

以上のごとき趣旨にご理解を賜り、ご多忙な毎日のことと推察申し上げますが、この御依頼文を呈上し、先生のご考慮を切にお願い申し上げます。

敬白

森一久先生
御礼下

平成七年四月吉日

京都フォーラム

座長

清水

栄（京都大学名誉教授）

清水 榮

将来世代国際財団

理事長

矢崎

勝彦

（（株）フェリシモ代表取締役会長）

矢崎勝彦

- ・ご参加いただく先生方の会議中のご宿泊、ご飲食及び、交通費（京都に來られるときの交通費も含む）等は当方で負担いたします。
- ・フォーラムは三日または四日のみでもご参加いただけます。
- ・誠にお手数ながら同封の葉書により、ご出欠のご意向をご記入いただき、四月末日までにご投函を賜りたく存じます。
- ・ご同伴を希望される方がおられましたら、その方の肩書き、お名前をあらかじめご登録いただきますようお願いいたします。
- ・ご出席のご意向確認後、改めて財団の方から詳細についてご連絡させていただきます。

〒六〇〇

京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町八十八 KI 四条ビル五階

財団法人将来世代国際財団

（京都フォーラム事務局）

担当 塩見直紀

野村庸子

池本敬子

電話 〇七五―二二二―四七三六
FAX 〇七五―二二二―四七五二

パグウォッシュ会議とは

パグウォッシュ会議は、世界の科学者が個人の資格で集まって、核兵器と戦争の廃絶に向けて科学と世界の諸問題を協力して解決しようという目的を持って討議する場である。この会議は、哲学者のラッセルと物理学者のアインシュタイン・湯川秀樹などノーベル賞受賞者を中心とする十一名が、世界の科学者に「核兵器の発達の結果生じた人類存続への危機に対して」警告を発し、「いかなる紛争も平和的に解決する方法を見いだすように」と呼びかけた一九五五年のラッセル・アインシュタイン宣言（The Russell-Einstein Manifesto）に呼応して、開催されるに至ったものである。パグウォッシュ会議という名称は、第一回会議がカナダのパグウォッシュ村で開催されたことにちなんで名付けられた。

一九五七年の第一回会議には、世界の代表的自然科学者・社会科学者二十二名が参加し、日本からはノーベル賞受賞者の湯川秀樹教授・朝永振一郎教授と立教大学の小川岩雄助教授（当時）が出席した。それ以来、毎年世界各地で会合を開催し、重要な提言をしてきた。提言の中には、核実験停止協定、核不拡散条約、非核兵器地帯、生物兵器、化学兵器禁止条約、ヨロップの安全保障、発展途上国の諸問題、環境問題などを含んでいる。一九九三年末までに、開催された会合は、年度二次会議・シンポジウム・ワークショップ・スタディグループなどを合わせ、丁度二百回に達している。

第二回世界将来世代京都フォーラム

－パグウォッシュ会議を起点として－

テーマ：将来世代への我々の良心と行動

日時：1995年8月3日（木）・4日（金）

主催：京都フォーラム・財団法人将来世代国際財団

出席者：パグウォッシュ 会議関係招待者

Professor John P. Holdren (U.S.A.)
Professor Francesco Calogero (Italy)
Professor Ogunlade Davidson (Sierra Leone)
Academician Vitalii I. Goldanski (Russia)
Dr. Venance Journe (France)
Dr. Martin M. Kaplan (Switzerland)
Professor Maciej Nalecz (Poland)
Professor Joseph Rotblat (UK)
Professor Bhalchandra M. Udgaonkar (India)
Professor Serguei Kapitza (Russia)
Mr. Sverre Lodgaard (Switzerland)
Professor Hans-Peter Durr (Germany)

京都フォーラム：座長 清水 栄（京都大学名誉教授）
企画委員 金 泰昌（前韓国忠北大学校行政大学院院長）
" 井上希道（芸州忠海少林窟道場主）
" 西岡文彦（伝統版画家）
（司会）" 林 勝彦（株式会社NHK インタープライズ 21エグゼクティブ マネージャー）
事務局長 矢崎勝彦（株式会社フェリシモ代表取締役会長）

敬称略・順不同

日本

(パグウォッシュ会議日本側招待者)

小沼通二 (慶応義塾大学教授・素粒子理論)

山田英二 (金沢大学名誉教授・素粒子理論)

(京都フォーラム側招待者)

S. ランファル (前イギリス連邦事務総長・前世界保護連盟総裁
地球ガヴァナンス委員会共同議長)

岡田武彦 (九州大学名誉教授・中国哲学)

小松智光 (寂光院門主)

北山正迪 (奈良女子大学名誉教授・国文学)

中村 元 (東京大学名誉教授・仏教学)

盛永宗興 (前花園大学学長・臨済宗師家)

藤永太郎 (前奈良教育大学学長・京都大学名誉教授・分析化学)

沢田敏男 (前京都大学学長・日本学術振興会会長・農林土木工学)

坂本慶一 (福井県立大学学長・京都大学名誉教授・農業経済)

海野和三郎 (東京大学名誉教授・天体物理学)

中村雄二郎 (明治大学教授・哲学)

森一久 (原子力産業会議専務理事・理論物理学)

岡田節人 (京都大学名誉教授・発生学)

河合隼雄 (国際日本文化研究センター所長・京都大学名誉教授・臨床心理学)

ジョージ・マルクス (ハンガリー・ブタペスト大学教授・原子物理学)

牧 二郎 (京都大学名誉教授・素粒子理論)

広中平祐 (ハーバード大学教授・京都大学名誉教授・数学)

法橋 登 (元国連国際原子力機構特別研究員・国際生命の起源学会会員・
認知科学・生命科学)

稲盛和夫 (京セラ会長・京都商工会議所会頭)

川那部浩哉 (京都大学生態学研究センター所長・生態学)

石川光男 (国際基督教大学教授・生物物理学)

桐島洋子 (作家)

川村永子 (大阪府立大学教授・宗教哲学)

高木仁三郎 (科学評論家)

石井誠士 (兵庫県立看護大学教授・哲学)

フランソワーズ・モレシャン (共立女子大学客員教授・国際文化交流)

早川博信 (福井県衛生研究所・放射線計測)

原田憲一 (山形大学教授・地球科学)

基調講演：中村 元（東京大学名誉教授）

S. ランファル（前イギリス連邦事務総長・前世界保護連盟総裁
地球ガヴァナンス委員会共同議長）

敬称略・順不同

◎宣言

◎出版（英語・日本語バイリンガル版）

◎T V 番組化は現在交渉中

◎1993年3月4日（金）

会場：国立新美術館

参加費：無料（「未来世代への我々の責任と行動」）

第2回世界将来世代京都フォーラム ー被爆50周年、バグウォッシュ会議を起点としてー

テーマ：将来世代への我々の良心と行動

●1995年8月3日(木)

会場：国立京都国際会館

- 9:00 開会挨拶 清水 栄 (京都大学名誉教授・京都フォーラム 座長)
- 9:15 基調講演 「将来世代への我々の良心と行動」
- 9:15 「将来世代への我々の良心と行動」" 隣人愛の立場から"
Shridath Ramphal卿 (前イギリス連邦事務総長・前地球サミット賢人特別会議議長)
- 10:30 「将来世代への我々の良心と行動」" バグウォッシュ会議の立場から"
Professor Joseph Rotblat
- 11:45 「将来世代への我々の良心と行動」" 仏教学の立場から"
中村 元 (東京大学名誉教授)
- 13:00 昼食
- 14:00 バグウォッシュ会議・広島の報告/ステートメント
Professor John P. Holdren
- 14:30 討論
- 18:00 終了

●1995年8月4日(金)

会場：国立京都国際会館

参加者スピーチ 「将来世代への我々の良心と行動」

林 (NHK) 司会

清水 さん

人類の危機に対する対応 (防衛、環境等)。

8/9 (8/10) (由 玄白) 2/84

8/10 10月12日の世長 (協定)

新南極探検のさ前。

世長 = 20年 果て世長 = 20年 10月12日の世長 (協定) 8/10 10月12日の世長

高土と高土 世長 = 20年

世長 (世長 = 20年) 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

20年

10月12日の世長

20年 10月12日の世長

10月12日の世長

世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

Science 世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

世長 = 20年 10月12日の世長

$$11^3 \tan^2 \tau \frac{\bar{b}}{b} L.$$

7- Topik 口-distribution. also 三つ-の²⁰~~18~~区
"ethics" 本

「記憶と忘却のメカニズム」 — 12 念目とは

Our Global Neighborhood

topo is option ~ 托子可選

security people will

CTBT
 $\phi 12 \times 2 \times 2$ (1#)

抗酸の抗酸作用

地產。 武器貿易

Rotblat

84年2月20日
 横濱市議会議員 偶々 — 139 1st floor
 1/20 1st floor 139 1st floor
 (瑞)

[illegible]

Manhattan Project 5-12-52 の48-49は10月
 まで。(独逸) 8月17日 5月4日 5月1日 5月1日 5月1日

カンパニに依る批判。 70000 円。
 南支那の一般の電報料。 和密理、研究 (付録)
 金に、電報料の拒否カニ。

中國科學院

本國科學者連盟
バグダッドは科学者の大集結地である。

フーリエ変換 = 周波数の指定

核区 = 核区

抄条

申林元

佛春- 事^ニ得^ル理^ニ想^スハ^シテ^モ 意^ニ付^カズ 村^ニ世^ニ出^ルハ^シテ
 大正8年、小学校入学 - 競争^ハモ^ト好^ミト^モシ^テ 大^ニ力^ヲ使^フ
 然^レモ^モ大^ニ力^ヲ使^フモ^ト好^ミト^モシ^テ 無^キ力^感

「京子の手紙が知る」といふか。読むべき書物。口へ
法皇が書ける

偶数, 奇数 (奇 $\rightarrow$ 2 的倍数, 偶 $\rightarrow$ 1 的倍数) 桂端.

言知ぬのこ人が知るなり。 $\rightarrow$ 知るなり。
(言知ぬのこ人が知るなり。)

偶数では成り立たない。 $\frac{1}{2}$ だけ減る。

西岸 好乾的 伊曉的. 車陣是怎的 好可怕.

民族戦争 (富共同土土の) 大家は無関係

2次同士の和

武工同志の
 6月12日午後5時
 5分50秒

この思想 → 平和思想について
 平和思想 → 平和思想について

平和思想 → 平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

平和思想について

世界を愛する人々が

世界の発展のため、上級通信の基盤を築き

ていくことを目指す。

それは、

12人の若者たちが、12人の若者

たちが、12人の若者たちが、12人の若者

たちは、世界を愛する人々が、世界を愛する人々が

世界を愛する人々が、世界を愛する人々が

世界を愛する人々が、世界を愛する人々が

世界を愛する人々が、世界を愛する人々が

節々節々 2/11

大府政務院の津波で5に2はおも 勝手なわけ
数年前のわけ。

1912年 乙未年 見世 乾陽理

1912年 乙未年 二月 見世 380日
 1939年 十午年 地蔵に寄与、人。享禄秘造を布如、神口
 受と研究書由いれちやせん点、1979~ 平和研をく、乙酉
 元也

4 西歐近代文明の影響 — (精神面)

194210月 平露町 20-1 Wn

化学的印像

杭生英 - 周文月 (西曆 1950), 環地

3 友同規

岡田(陽明子)

功夷
主戰

和 鐵

记录
主

五

儒学

做善事

西地同一
一体同

1. $\angle B$ 对边

$$= \frac{1}{2} (2) \int_0^2 x e^{2x} dx$$

理想主义"否定

王良庚

其他同例是 - 元组

现实的

討論 金泰昌の長

- ① 今江文明の... 転抱負... (中世)
- ② 地球市民倫理 協力は至上命令 隣人愛。

(ラッパル、9月)

- ③ 具体的行動について 忘れられたい、
書きたいこと、 何をどうする

"our country - the earth" という事もある。

平和が大切。

金泰昌 永遠の平和が欠けると悲劇を意味。

「天口への道はせまい。そこへの道へ来る人は少ない。」という言葉が、

カセー... (12) 人に希望

平和(12/24+) 平和の10年

要するは... 要するは... 要するは...

エル山は... 平和の道

平和の道... 平和の道... 平和の道...

平和の道... 平和の道... 平和の道...

平和の道... 平和の道... 平和の道...

平和の道... 平和の道... 平和の道...

平和の道